



＝令和6年度竜王小学校だより＝

竜の子

令和6年12月20日

No. 8

校長 松井 渉

よいお年をお迎えください！

今日12月20日をもって、運動会や校外学習、児童会の取組など、さまざまな行事があった2学期が終わります。各学級で、それぞれが自分の目標を決め、よく努力した2学期であったと思います。行事を通して友達と協力することの大切さも学びました。

さて、冬休みは3週間あまりと短いですが、一年の終わりと始まりを経験する大切な時期です。一年の終わりとして、ご家庭では、大掃除や片付けをすると思います。これは、一年間の終わりに掃除をして、きちんときれいな家庭で新年を迎えたいとする昔からの風習です。ぜひ、片付け等をする時には、子どもたちにも手伝わせてください。きれいに掃除をした後は、家の中に飾ってあるしめ縄を新しくしたり、玄関に門松を飾ったり新年を迎える装飾をします。鏡餅を飾り、年越しそばを食べる時には、今年一年の中で、頑張ったことを各ご家庭で出し合って、子どもたちをたくさんほめてあげてください。

大晦日、除夜の鐘が鳴り響く中、新しい年が始まります。元日は、昔より日本人が一年のうちで一番大切にしている日です。年賀状には元旦と書きます。ご存知のように、元旦とは元日の朝という意味です。年賀状は1月1日の朝に着くのが礼儀と言われているので元旦と書きます。三が日は、元日から3日間のことを指します。国民の祝日は元日ですが、一般企業や官公庁もこの3日間は休みのところが多いです。この間に、家族で初詣に出かけたり、親族が集まったりします。お正月には、お雑煮が食べられるようになったのは平安時代ごろだそうです。その年の歳神様にお供えたお餅や野菜などを食べることから始まったそうです。日本各地ではお雑煮の作り方が違うので、各ご家庭のお雑煮の味もいろいろとあるでしょう。年末・年始は、家族みんなで一緒に食事をしたり出かけたりすることがたくさんありますから、ぜひ、その機会に学校であったことや今年の抱負などを話し合ってみてはいかがでしょうか。

前号の①～⑤の（ ）に入る言葉は以下の通りです。

一秒の言葉

(はじめまして)	この一秒ほどの短い言葉に	一生のときめきを感じることがある
(ありがとう)	この一秒ほどの短い言葉に	人の優しさを知ることができる
(がんばって)	この一秒ほどの短い言葉で	勇気がよみがえってくることがある
(おめでとう)	この一秒ほどの短い言葉で	しあわせにあふれることがある
(ごめんなさい)	この一秒ほどの短い言葉に	人の弱さを見ることがある
(さようなら)	この一秒ほどの短い言葉が	一生の別れになるときがある
一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒		

「たった一秒の短い言葉でも、人の心を温かくすることができます。しかし、同じ一秒でも相手を傷つける言葉もあります。ふだん当たり前に使っている言葉こそ大切にしなければいけないし、心を込めて使いたいものです。人からどんな言葉をかけられたら温かくうれしい気持ちになるのかよく考えて、会話をしたいものですね」との談がありました。私たちが子どもたちと共に行う教育活動も、保護者及び地域の皆様との連携も言葉を介しています。心通う温かい言葉のやりとりを心がけていきたいと感じているところです。来年も、保護者の皆様、子どもたちと学校全体で、みんなの笑顔をつくっていききたいと思います。

本日の終業式で、私は裏面のような話をしました。そして、この便りを書いている私の姿勢は知らず知らずのうちに背中が丸まっていた。来年は、姿勢を大切に、背筋を伸ばしていきたいと思っています。本年も、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

【家庭数配付】

これから、みなさんに「形」について振り返ってほしいと思います。

みなさんは、「外側よりも中身が大事だよ」という言葉を読んだり聞いたり言われたりしたことがあると思います。それはその通り、大事なことです。でも、本当は、中身が大事なのはもちろんですが、外側も大事です。「形」とは、この外側のことです。

外側がきちんとしてくると、いつの間にか中身もきちんとしてくれるのです。ですから、中身をきちんとするためには形をきちんすることもとても大事なことです。

昔、東映ファイターズという、あまり強くないプロ野球チームがありました。そのチームの監督に、水原茂という人がなったら、めきめきと力をつけて、2年目にはなんと優勝してしまったんですね。

いったい水原監督はどんなやり方で優勝したのでしょうか。きっと効果的な練習方法を考えたのだと思いますが、そういう練習とは別に水原監督はとても面白いことをしたのです。

1つは、ユニフォームのデザインを変えたことでした。そのころとても強かったジャイアンツのユニフォームに似ている、かっこいいデザインに変えたのです。それからもう一つ、試合会場まで移動するのに使う列車を一等車という高級な座席にしたそうです。

もちろん、ユニフォームを変えたり一等車にしたりしたから優勝したわけではありませんよ。でも、それまでファイターズの選手たちは、知らないうちに「どうせ自分たちは弱いんだ」と思っていたのです。それが、強いジャイアンツと似ているユニフォームになり、ファンからも注目されるようになりました。一等車で移動するのでますます注目されます。そうすると、選手たちは今までとは違ってやる気が出るんですね。

水原監督は、「俺たちはどうせ弱い」という選手たちの思いを変えるため「形から入る」ということを実践してみたのです。やる気が出れば、もともと力のないチームだというわけではありませんから、どんどん良い方向に向かい、ついに優勝までしてしまったというわけですね。

こんなふうに、実は人は見た目でやる気が上がることがあります。ですから、見た目や形を振り返ってみることはとても大切なことです。

そこで、みなさんの2学期を振り返ってみましょう。

まず、服装や持ち物はどうだったでしょうか。きちんとした服装で過ごせましたか。学校に行くのに関係のないものは持ってきてませんでしたか。

姿勢はどうだったでしょうか。授業中はよい姿勢で座れましたか。立った姿勢もきちんとしていましたか。

顔の表情はどうだったでしょうか。いつも明るくやる気のある表情でいられたでしょうか。

返事やあいさつやお辞儀も形の一つです。はきはきとした返事やあいさつ、きちんとしてお辞儀ができましたか。

ところで、明日から冬休みが始まりますが、冬休みの間には日本の伝統的な行事や文化に触れる機会がたくさんありますね。大掃除、大晦日、除夜の鐘、お正月、初日の出、初夢、みんなが楽しみなお年玉、初詣、書き初め、たこ揚げ、松飾、七草がゆなどの言葉を聞いたことがあるでしょう。

冬休みは、ぜひ、そのような日本の伝統的な文化や行事について触れてみてください。文化や伝統行事には、今、話したような「形」が大切にされて残っています。例えば、除夜の鐘は108回と決まっています。お正月に食べるおせち料理も種類が決まっています。お供えのお餅も形が決まっています。

そういうものに触れて、形の良さや素晴らしさが分かると、それが毎日の生活にも生きてくるのではないかと思います。

形の良さを冬休みの間に学んで、それが3学期の生活に生かせるようになると、ますます素晴らしい竜王小学校になると思います。

テレビ番組「知ってるつもり?!」1993年6月放送より